



さあ、乙姫米を植えよう
 (日和佐乙姫米栽培研究会)

美波町 議会公報

平成27年度・当初予算	2
常任委員会の審議概要	3
議員の賛否	4
請願結果	5
議長の活動・議員の出欠状況	6
一般質問	7
議会だより報告会	12
「あの答弁、ほのあとどないなっとな!？」	14
頑張る人!!・コラム	16

第36号 平成27年3月定例会



平成 27 年度・当初予算

衛生費から病院事業会計へ

約13億8000万円 [建設事業費総額 25億5700万円] 繰り出し

■ 目的別町民一人当たりの予算額 [一般会計・金額の多い順]



① **衛生費**
23万6790円
病気の予防や健康相談、ごみ処理、病院建設など



⑦ **土木費**
4万4715円
道路や橋、公園、住宅の整備など



② **民生費**
19万9363円
高齢者や乳幼児、障害者などの福祉、生活保護、災害救助など



⑧ **農林水産費**
3万4579円
鳥獣対策、農山漁村の活性化など



③ **総務費**
10万6756円
税務・戸籍・選挙・統計などの事務や庁舎などの管理



⑨ **議会費**
9633円
町議会の運営や監査など



④ **公債費**
9万1582円
町の借入金の返済



⑤ **教育費**
7万3939円
子ども園や小・中学校、社会教育、芸術文化、スポーツ振興など



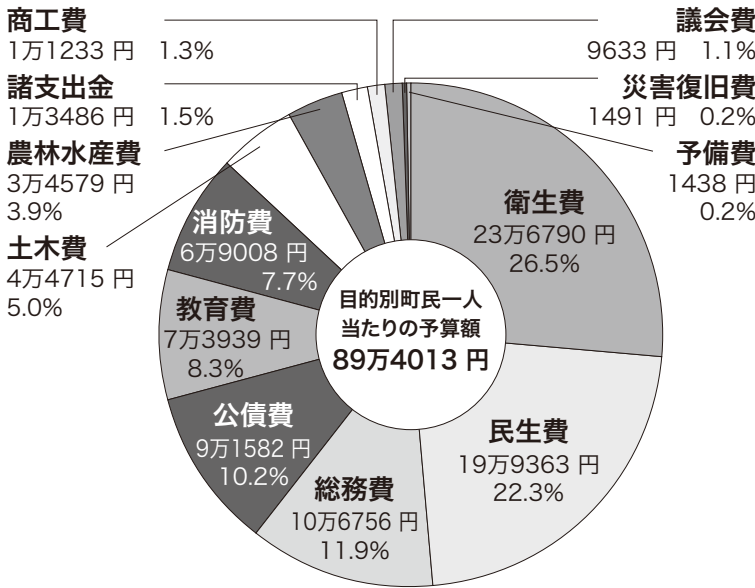
⑥ **消防費**
6万9009円
消防活動や消防団、災害対策など

() 内は昨年度の数值

町民一人あたりの予算額
89万4013円 (74万2804円)

一世帯あたりの予算額
192万4528円 (161万8497円)

平成27年3月31日現在人口
(外国人を含む) 7,416人
平成27年3月31日現在世帯数
..... 3,445世帯



特別会計

総額
29億5866万円
(前年度比 1.4% 増)

「特別会計」とは特定の収入をもって特定の事業を行う場合に、その収支を明確にするため一般会計とは切り離して処理するもので、美波町には9つの特別会計があります。

	予算額 (万円)	前年度比 (%)
国民健康保険事業	12億9401	13.1
育英奨学金事業	1944	▲8.0
赤河内財産区会計	941	0
簡易水道事業	5981	▲60.4
漁業集落排水事業	2200	▲1.8
公共下水道事業	1億5209	▲2.8
介護保険事業	12億2650	▲0.2
阿部診療所会計	3432	▲4.9
後期高齢者医療会計	1億4108	▲4.5

公営企業会計

総額
26億6867万円
(前年度比 49.9% 増)

「公営企業会計」とは、地方公共団体が企業として経営する事業を行う場合、その公営企業に伴う受益の程度に応じた料金(使用料)でまかなうため、その収支を明確にすることから一般会計とは切り離して経理するもので、本町には水道事業会計と病院事業会計の2つの公営企業会計があります。

	予算額 (万円)	前年度比 (%)
水道事業	1億4389	57.6
病院事業	25億2478	49.5

「道の駅」 2期連続赤字

●報告第1号 道の駅事業報告

質疑

(営業収支) 4期連続赤字の原

因は。

答弁

産直と物産館の店舗が二つに分かれて

質疑

駐車場の植え込みで進入路が狭い

答弁

今後、国土交通省と協議する。



道の駅出入口

●議案25号 一般会計予算

質疑

姉妹都市親交費500万円の内容は。

答弁

自治体国際化協会の助成事業により、中学生をオーストラリアに留学させる計画で、事業決定次第募集する。

質疑

気象観測システム整備工事の内容は。

答弁

本庁に雨量計・気圧計・風向計を、支所・阿部・大越に雨量計を設置。光ファイバーを使い本庁・支所で見えるように整備する。

質疑

山座の無線中継所購入の経緯は。

答弁

デジタル無線の中継所が本庁・玉厨子山・明神山の三カ所あるが、それだけではカバーできないので、4カ所目としてNTTの山座中継所を購入する。

児童館・女性会館の移転は時期を見て考えている

●議案4号 児童館・女性会館の指定管理者指定

質疑

児童館・女性会館は津波浸水深4mとなつていますが、将来移転を考えているのか。

答弁

移転は時期を見て、考えたい。

答弁

臨時職員は半数いるが、年齢は若者からベテランまでおり、バランスは取れている。

質疑

保育士の確保は難しいと聞か

答弁

臨時職員の募集は12月から始めており、募集・人員配置は総務企画課で担当している。

質疑

国民健康保険に7500万円繰り出しているが、今後の見通しは。

答弁

国は、平成30年から徳島県が事業主体で進めることとなっている。今後は、国の動向を見て説明していく。

●議案第25号 一般会計予算

質疑

認定こども園移行について、臨時職員と正職員の割合等適正な保育・教育ができる体制は取れている



児童館 (津波浸水深4m)

◆各議員の賛否◆

議長…◎ 賛成…○ 反対…× 欠席…欠

報告・議案・発議・請願	議員名											結果	
	舩田邦人	◎岩瀬公	江本昇	北山朝彦	川尻竹藏	松本晋児	永本善次郎	寺下博子	戎野博	向山篤宏	丸龍孝敏		中川尚毅
報告第1号 道の駅日和佐事業報告	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第1号 専決処分報告	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第2号 過疎地域自立促進計画の一部変更	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第3号 地区公民館指定管理者の指定	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第4号 児童館・女性会館指定管理者の指定	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第5号 「浦島」「竜宮」指定管理者の指定	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第6号 「長寿村」指定管理者の指定	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第7号 地域防災拠点施設指定管理者の指定	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第8号 移住交流支援施設指定管理者の指定	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第9号 道の駅日和佐指定管理者の指定	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第10号 教育長の職務に関する条例	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第11号 教育長の勤務時間に関する条例	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第12号 地方教育行政の組織改正	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
議案第13号 認定こども園条例	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第14号 早期退職に関する条例	○	—	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	可決
議案第15号 職員給与に関する条例の改正	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第16号 特別会計条例の改正	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第17号 携帯電話等エリア整備事業分担金条例	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第18号 消防団設置条例の改正	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第19号 一般会計補正予算（平成26年度）	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第20号 国民健康保険事業補正予算(平成26年度)	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第21号 公共下水道事業補正予算(平成26年度)	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第22号 介護保険事業補正予算（平成26年度）	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第23号 阿部診療所補正予算（平成26年度）	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第24号 病院事業補正予算（平成26年度）	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第25号 一般会計予算（平成27年度）	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第26号 国民健康保険事業予算（平成27年度）	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第27号 育英奨学金貸付事業予算（平成27年度）	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第28号 赤河内財産区予算（平成27年度）	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第29号 簡易水道事業予算（平成27年度）	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第30号 漁業集落排水事業予算（平成27年度）	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第31号 公共下水道事業予算（平成27年度）	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第32号 介護保険事業予算（平成27年度）	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第33号 阿部診療所予算（平成27年度）	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※議長は賛否の意思表示をすることが出来ません。採決の結果、可否同数となった場合は議長が採決権を行使します。（過半数議決の場合）

◆各議員の賛否◆

議長…◎ 賛成…○ 反対…× 欠席…欠

報告・議案・発議・請願	議員名											結果	
	舩田 邦人	◎岩瀬 公	江本 昇	北山 朝彦	川尻 竹藏	松本 晋児	永本善次郎	寺下 博子	戎野 博	向山 篤宏	丸龍 孝敏		中川 尚毅
議案第34号 後期高齢者医療予算（平成27年度）	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第35号 水道事業予算（平成27年度）	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第36号 病院事業予算（平成27年度）	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第37号 固定資産評価審査委員の選任	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第38号 赤河内財産区管理委員の選任	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第39号 介護保険条例の改正	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第 1号 町議会会議規則の改正	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
請願第 2号 介護従事者の処遇改善	×	—	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	不採択

※議長は賛否の意思表示をすることが出来ません。採決の結果、可否同数となった場合は議長が採決権を行使します。（過半数議決の場合）

「介護従事者の処遇改善を求める請願」不採択

この請願（中川議員紹介）は、平成26年12月定例会において文教厚生常任委員会に付託され、平成27年2月25日の委員会審査を受け本議会審議となった。

委員会の審査

質疑

処遇改善の費用を国費で行うと、他の分野に影響を及ぼさないのか。

答弁

国費のことは国に聴かないとわからない。

質疑

雇い入れる施設の努力状況は。

答弁

請願者を参考人に呼びたかったが機会が無かったのでわからない。

反対討論

●寺下 議員

現在の情報量では、きちんと判断できないので反対する。

賛成討論

●戎野 議員

介護従事者は、平均賃金より9万円低いことは政府も認めている。
介護者手当を上乗せしても従事者には行き渡らないが、この請願は人手不足解消につながるるので賛成する。

（賛成2人…反対3人）

本議会の審議

反対討論

●向山 議員

「介護従事者の処遇を抜本的に改善する」の「抜本的」では具体性に欠ける。また、処遇改善の費用を国費に求める事に疑問を感じる。

賛成討論

●北山 議員

美波町は高齢者福祉充実をまちづくりの重要課題と位置づけ、国は介護状態になっても地域で住み続けるまちづくり実現を目指し高齢者介護と介護予防の充実に取組んでいる。そこで、国・町の想いに応えるために提出すべき。

●戎野 議員

国費で介護従事者の改善を求めるのがおかしければ、国費で従事者の手当を出すのにも反対するのか。介護対象者が増える中、職場の処遇が悪ければサービスが低下する。よって、介護職員に調理や看護職を含めた処遇改善をすべき。

（賛成3人…反対11人）

議長の主な活動状況 (平成26年12月定例会～平成27年3月定例会)

- ◆2月3日
市町村トップセミナー
- ◆2月10日
兵庫県佐用町議会来町 (副議長対応)
サテライトオフィスの取り組みを視察
- ◆2月17日
那賀・海部郡地区議長会
- ◆2月25日
海部郡衛生処理事務組合
専決処分 (承認) ・一般会計 (可決) 等
海部郡特別養護老人ホーム事務組合
専決処分 (承認) ・一般会計 (可決) 等
海部老人ホーム町村組合
専決処分 (承認) ・一般会計 (可決) 等
海部消防組合
専決処分 (承認) ・一般会計 (可決) 等
- ◆2月27日
第66回徳島県町村議会定期総会
- ◆2月28日
国道55号大山道路 (バイパス) 開通式 (安芸市)

◆ 各議員の出欠状況 (平成26年12月定例会～平成27年3月定例会) ◆

出席…○ 欠席…× 委員外出席…△ 委員外…-

日付・会議等	議 員 名												
	舛田 邦人	岩瀬 公	江本 昇	北山 朝彦	川尻 竹藏	松本 晋児	永本善次郎	寺下 博子	戎野 博	向山 篤宏	丸龍 孝敏	中川 尚毅	
1月 6日	議会広報特別委員会	-	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	○
13日	議会広報特別委員会	-	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	○
15日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15日	議会広報特別委員会	-	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	○
23日	議会広報特別委員会	-	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	○
27日	議会広報特別委員会	-	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	○
30日	議会広報特別委員会	-	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	○
2月3日	議会広報特別委員会	-	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	○
9日	テレビ中継特別委員会	○	-	-	△	-	○	○	○	○	-	-	△
21日	議会広報特別委員会 報告会 (由岐地区)	-	-	-	○	-	-	×	△	○	-	-	○
22日	議会広報特別委員会 報告会 (日和佐地区)	△	-	-	○	-	△	○	△	○	△	-	○
24日	議会広報特別委員会	-	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	○
25日	議会運営委員会	△	△	○	△	△	○	△	○	○	○	○	△
25日	文教厚生委員会	△	○	○	○	△	-	△	○	○	△	△	○

※ここでは本会議、委員会、議会の議決による派遣、その他議長が参加・出席を要請した活動のみ掲載しています。

一般質問

一般質問では、防災・教育・まちづくり・産業振興・人事評価など、6人の議員が町の考えを質しました。

1 持続可能な地域づくりの推進に向けて

弁 不妊治療費の上乗せ助成については実施に向けて進めたい



議員 寺下 博子

質問 自治体が地域の機能を持続するためには、その元となるエネルギーは地域力に尽きると考える。

① 若手職員によるプロジェクトチームを立ち上げ、若い世代の柔軟な発想を施策に生かしてはどうか。
② 不妊治療は、経済的負担

も大きく治療も長期にわたる場合も多いと聞く。治療すれば生まれる命があるのなら、それは必ず少子化対策の一助となる。県の「このとり応援事業」の上乗せ助成を本町でも検討してはどうか。
③ 平成27年度から実施されるファミリーサポートセンター事業について、現状と今後の課題は。

● 山路副町長

① これまでも、課を超えて協議等が必要な事案が生じると、必要に応じてプ

ロジェクトチームあるいはワーキンググループを立ち上げ対応している。組織として機能するためには、若手のみに限らず、職員全体で合意形成を図ることが重要だと考えている。

● 花木保健福祉課長

② 不妊対策としては、平成16年度から国の制度を活用し実施しており、窓口は県内各保健所となっている。補助事業の実績として美波保健所管内では、平成24年度3件、平成25年度7件、平成26年度現在2件と聞いている。上乗せ助成については、実施に向けて進めていき、助成の詳細につい

ては、十分検討したい。
③ ファミリーサポートセンター事業は、社会福祉協議会に委託し、児童館で実施を予定している。今月には、育児の応援を依頼したい会員(依頼会員)と、育児を応援できる会員(提供会員)の募集を行う。サポートセンターは、援助の依頼があった場合、登録している提供会員を紹介し、双方合意の上で援助活動がされる。利用料金については、直接支払う仕組みとなる。今後の課題は、提供会員の育成で、必要な講習を受け、意識や知識を身につけてもらい、十分な安全管理に努めたい。

2 魅力ある教育環境の推進を

弁 土曜授業については、平成27年度も実施しない

質問

① 土曜授業の検討の現状について伺いたい。

② 大学等との連携により、大学生の派遣や地域のマニパワの活用で、子どもたちの学力向上につな

げたらどうか。学校での指導に加えて、さらなるツールからの学習は子どもたちの学習意欲も高まると考えるがどうか。

● 寺内教育長

① 教育委員会では2月に町内校長へ土曜授業について聞き取りを行い意向を確認したところ、実施を求める意見はなく、土曜授業を取り巻く環境面からも時期尚早と判断し、平成27年度も実施しないこととした。

② 地域事情による学習支援活動としては、「学習塾が存在しない、通いたくても遠距離で通えない」など地域環境を補う取り組みとして実施されていると聞いており、本町は現在のところ差し迫った必要性はないと考えている。学校での学習支援については、求めに応じて休み時間、放課後に対応しており、学級担任、教科担当に限らず、指導にあ

① 移住者向けのシェアハウスをつくれなにか

答 弁
城山の空家を購入し、整備する予定



質問

美波町は昨年、合併後初めて転入が転出を上回る社会的増に転じた。これは活性化の表れとして素直に喜んでいいと思う。特にIT関連や起業を目指す人達が増えている気がする。今後移住者が増える可能性もある。そこで、その住居をベースとして町の状況や自然、人などを見てもらい、移住希望者らが悩みや情報交換をし、またお試し滞在住居として使える移住者向けシェアハウスをつくれなにか。

● 影治町長

サテライトオフィス誘致事業については、現在は起業も含め9社が進出している。また、新たに進出を検討している会社もあり、移住定住対策と相まって、空き家等の物件不足が常態化している。美波町各地域には移住交流施設をはじめ宿泊機能を持った施設もあるが、日和佐地区中心部にはそういった施設が少ないことから、平成27年度において城山にある空き家を購入し、交流施設などとして整備する予定である。利用方法としては、お試しサテライトオフィスや大学連携などの取り組みの中での交流施設、また災害時においても避難施設としても活用可能な施設として計画をしているところである。

① 町民グラウンドを堆積土砂でかさ上げしては

答 弁
近隣住民・利用者の意見を踏まえ検討したい



質問

町民グラウンド(日中跡)に日和佐川・北河内谷川の堆積土砂を活用して3mぐら埋め立てて津波避難所を造り、平常時は町民憩いの場として、また観光集客を目的に新しく臨海公園を立ち上げれば一石二鳥の利用効果が得られると思うが。

● 橋本消防防災課長

町民グラウンドの津波浸水高は2mから4mで、それ以上の盛土をすれば計算上浸水しない土地が出来上がる。河川の堆積土砂の処分方法として、非常時の津

獣活用協議会を立ち上げ検討を進めて来た。観光資源としての活用は、民間で取り組むなら町はできる限りの支援は惜しまない。

③ 日和佐幼保移転用地協力者の対応は

答 弁
高台開発計画が不可の場合は協力を求める

質問

西河内で、日和佐幼・保の早期移転の用地を全面的に協力したいと言う声があるがどう思うか。

● 影治町長

高台開発の概要設計を進めている。開発可否の判断に少し時間の猶予が必要で、不可能と判断した場合は、その他の用地協力希望者に協力を求めたい。

② シカ観光牧場の建設

答 弁
民間で取り組むなら支援する

質問

耕作放棄田を活用して、厄介者のシカをシカ牧場で肉質改善し、さらに観光資源として活用できないか、調査研究してはどうか。

● 小坂産業振興課長

獣肉有効利用は、捕獲鳥

①「人材育成基本方針」の改定と、人事評価制度の進捗状況は

弁 答 目指すべき職員像を設定し、人事評価制度は5月頃を目標にしたい



議員 北山 朝彦

質問

「人材育成基本方針」改定のためのアンケート調査で何が判明し、その結果どのように改定することになったのか。また、人事評価制度の基本方向・基本事項・実施スケジュール等々の進捗状況は。

●磯野総務企画課長
アンケートの結果を踏まえ、キーワードを設定し目指すべき職員像を作った。人事評価制度で難しいのは評価する側の管理職等のやり方であるが、取りあえず課長に資料を配布した。一番のポイントは研修であ

るが、研修会はまだ開催できていない。

質問

アンケート集計結果から何がわかったのか、そして現在の基本方針のどこを变えるのか、具体的に説明されたい。

人事評価制度のスケジュールについては、「3月までにやらなければ」という答弁だったが遅れている状況を説明されたい。

●磯野総務企画課長

「人材育成基本方針」は現在8ページのもの、15ページになる。アンケートの内容も盛り込み、それに対応する職員像を掲げている。他に職場環境も明示している。

人事評価制度を早くということだが、阿南市・那賀町に聞くと5月頃を目標に

しているので、本町もそうしたい。

質問

アンケート結果とその反映の答弁がなかった。

②各組織団体から「課題解決策の具体策」を出してもらってはどうか

弁 答 その方向で行くのが望ましいと考えている

質問

第6回産業施策検討懇話会の記録を読んで、出席者各位それぞれの分野の現状把握が的確であった。しかし活性化策の具体的行動計画への歩が感じられない。

それは、その方向に会を導くプロデューサー的役割がないからだと思う。会員間ではその任は町にあると認識している。

そこで提案する。町は全組織団体の指導推進と言う責任が生じるが、適当な時期に懇話会各メンバーから、

育成基本方針は増量しても完全に実行されたい。人事評価制度は阿南市並みという悠長なことではなく、国家公務員並みにできるだけ早く実施されたい。

質問

ので懇話会で検討して行くことになると思う。

●影治町長
今までやってきた色々な経過について町長はどう判断しているのか、順調に成果を挙げてきていると感じているのか、いやもう少し見直すべきだと感じているのか感想を述べられたい。

議員の言う「成果」の意味がはつきりしないが、私自身は現在「成果」を出すための道を歩いていると思っている。成果を挙げていくか云々というようなことは今は答えられない。

質問

「成果」と言ったのは町がその時々々の会議を反省して、どのような意味が有ったか、無かったか反省した結果のことで、その都度検証評価していくときのことだ。これがなければ、大きく道をそれて、成果が挙がらないことになるので質問した。

●小坂産業振興課長

提案頂いた、各団体から問題解決策を出してもらったことは当然有り得るので、その方向で行くのが望ましいと考えている。

地域がキャンパス事業では、産業施策の中で検討するものが確かにあると思う

① タクシー助成等、公共交通サービス 充実への取り組みは

弁 銀行や買い物等への利用拡大は 考えていない



質問

ミニドライバーまたはデマンド型乗り合いタクシーへの取り組みを考えているのか。病院完成時、由岐搬送班を今後、どのように配置替え、また対応していくのか。

① 過疎高齢化により、通院困難や買い物難民が増え、交通手段への補完として高齢者への「タクシー利用料金助成事業」により、病院・役場・最寄りの駅までの一部タクシー補助をしているが、他市町村が既にやっているように銀行や買い物等商業施設等への利用拡大を認め、生活の利便性を図っていくべきではないか。

② 公共交通のない地域が増えているが、新町立病院の開院を控え、住民の足を確保する手段として

● 山路副町長

② 由岐搬送班へのサービス連携と今後の取り組みについては平成25年9月から「搬送業務の在り方検討委員会」を設置し、現状報告、海部消防緊急業務も含め今後、検討する

② 高台移転事業への取り組みと防災事業の進め方は

弁 概略設計の段階で防災公園、住宅用地などに 取り組む

こととなっている。デマンド型乗り合いタクシーの実証運行の結果を踏まえて地域公共交通会議で合わせて搬送班の在り方についても今年度内に会議を行い検討していく。

質問

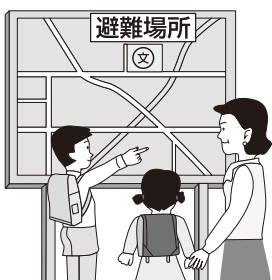
① 南海トラフ地震に備えて町長は高台用地造成構想として防災公園、公共施設等の移転用地として道の駅西側の山林開発を予定して調査費を予算化して協議を進めているとこたえているが、認定こども園の他にどのような公共施設を考えているのか。構想と計画、予定額の見込みは？町の負担額は？多目的な目的とは？防災公園とはどんなもので

その防災効果は？仮設住宅用地整備か？若者の定住促進宅地開発や高齢者福祉住宅、町営住宅なのか？事前復興まちづくりに関するアンケートの結果から判断して造成構想をなお、進めるのか？日高、水高跡地での仮設住宅用地では面積が取れないのか？

● 影治町長

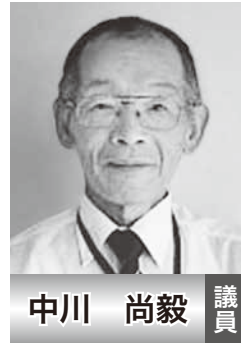
高台構想のきつかけは幼稚園・保育園等の保護者会から高台移転の要望があり、

議会からも要望質問があり津波の影響を受けない所を検討した結果、道の駅向かいの土地が適地として県の補助金を受け概略設計をしている。土砂の搬出、進入道路の勾配、標高などを含めて調整をしている。 幼保の移転地、被災した時に使える5ha〜6ha(350戸分)の一部仮設住宅用地としてのグラウンドみたいな防災公園、公営住宅用地、福祉ケア的な公営住宅用地など住民に示して意見を聞いていきたい。 住民の意見を聞く時期は、原案を作成したら議会に説明した後で住民に説明をし、最終案を議会で議決して進めていく。



①東町の防災対策について 避難路は

弁 1、2号水路の老朽化対策の後に都市計画
答 道路にかかる



議員 中川 尚毅

質問

「大浜海岸防潮堤をしつかりしたものにして」「説明が足りない」「工事を止めて」という声に対して納得できるまで説明会を開いてもらいたい。

「逃げる道がない」についての構想は。また、避難路は、町が用地を買収して作るべきで、住民の合意と納得を得るよう、町長が交渉にあたってもらいたい。大浜に通じる県道、堤防を越えて海水がきた場合の対策はあるのか。

●鶴木建設課長

防潮堤改良工事は、老朽化対策に加え地震による沈下対策で、現状の高さ、L1（百年に一度）津波よりも高く設定。「強く長い揺れを感じたら、速やかに高台に避難する」という基本の意識はこれまでどおり。

山や津波避難タワーまでの長い路地は、住民の理解・協力を得ながら老朽住宅の解体や空き家対策により道路の拡幅・延伸を行う。

大浜海岸で浸水想定を超えた場合、全域が浸水し避難困難となる。津波最大波を津波避難マップで知らせているので、地震発生から津波襲来までに率先避難が肝要。

●影治町長

大浜海岸の防潮堤は維持補修工事であるので、住民

説明会は通常やっていない。国は、L1津波に対し整備することを決めており、千年に1度という津波に、ハードで防ぐのは困難としている。町もそうであるが、津波に対しては、最悪を想定して最善を尽くすよう防

災対策・減災対策を進めている。

また、安全確実な避難経路を準備するのは困難。都市計画道路は南北に2本抜く計画で、1号、2号水路の老朽化対策の後に道路にかかる予定。

②臨時福祉給付金の申請が少ないわけは

弁 今まで以上のお知らせができるようにしたい
答

質問

臨時福祉給付金の対象者で、173人が申請していないその理由は。

消費税、物価も上がり、負担が増え、年金も下げられる状況で、対象者の実情を把握し親切に周知すべきではないか。

来なかったことが考えられる。

●影治町長

対象者には郵送で通知しており町は十分な広報をした。平成27年度もあり、十分にとめて周知したい。

●磯野総務企画課長

合併後、平成19年度から町長部局、教育委員会、議会に対し80件。平成26年度は、議会へ3件あった。

手続きが一部適切に行われていなかったと認識している。時期の遅れ、書類等の不備については、非常に重大なことに捉えており、今後適切に処理するよう徹底したい。



●岩瀬住民生活課長

最終の申請率は92.6%。未申請の理由は、申請書、広報誌を見ていない又は忘れた等本人が申請に

③情報公開請求の決定通知を速やかに出すべきではないか

弁 適切な処理を徹底
答 したい

質問

情報公開請求はどれぐら

いあったか。公開請求したのに決定通知が来ないという声がある。条例には開示請求から15日以内に決定通知を出すという。速やかに出してもらいたい。

報告会開催 ～



由岐公民館にて

由岐公民館

平成27年2月21日

意見	回答
決算記事で、他町村と比較する等わかりやすい記事にしては。	意見を取り入れ掲載した。 (議会広報特別委員会)
一般質問の追跡調査をしては。	意見を取り入れ追跡記事を掲載。 (議会広報特別委員会)
町民に対して議会報告会を開催すべきだ。	4月14日、全員協議会で開催することを決定。(美波町議会)
来町者に対し、美波町の紹介看板を設置しては。由岐には看板が少ない。	由岐地区に案内看板は少ない。偉人や歴史的な重要人物を紹介するのは公民館の担当。(産業振興課)
支所の一部を阿波銀行に貸すことについては、議決が必要ではないか。	地方自治法により阿波銀行から賃借料をもらうので議決の必要はない。(総務企画課)
報告会の参加者を増やす手立ては回覧板が有効では。	回覧板の利用・町内放送・報告会の参加者に個別送付を実施する。(議会広報特別委員会)
避難訓練で、無線機を使った訓練をすべきでは。	今後も、無線機に限らず目的を持った訓練を実施する。(消防防災課)
「弁護士を入れて未収金・滞納金の改善をはかれ」と書いているがその後どうなっているのか。	実行するまでチェックする。 (議会広報特別委員会)

～議会だより

議会広報特別委員会が

2月21日に 由岐公民館、

2月22日に 日和佐公民館で

議会だよりについて説明会を開催しました。

それぞれの会場で

出された意見や質疑に対する回答を紹介します。



日和佐公民館

平成27年2月22日

意見	回答
町の窓口で、要望は「町内会に言ってくれ」と言われた。町は住民の話は聴いてくれないのか。	職員には、住民に対して懇切丁寧に対応できるよう指導している。(町長)
美波町情報公開条例で決定通知・資料に不備があった。	今後は、公開条例によらなくても公開する。(議会事務局)
広報みなみで行事予定がすぎていることがあるので発行日を検討しては。	広報発行日は原則第二金曜日。それに合わせて行事予定を掲載している。今後編集時に十分、チェックしたい。(総務企画課)
役場に無料電話を設置しては。	無料電話は、交換システムがないので設置不可能。ただし、一部役場からの発信については可能。(総務企画課)
議会広報を読みやすく、するため文言の説明や、資料等を掲載してもらいたい。	わかりやすい広報になるよう努力する。(議会広報特別委員会)
鳥インフルエンザの疑念から、町全体の問題として鳥の死骸を、職員に報告したが何の報告もない。	担当課に連絡し、住民に影響を及ぼすようなことについては町民に周知するなど適切な措置を行う。(総務企画課)

どないなっとなん!？」



議会だより第 33 号 (平成 26 年 6 月定例会)

質問議員	答 弁	現 状
埴 田	サテライトオフィス誘致活動を積極的に行いたい。 (影治町長)	視察に数社が来町。2社が試験的にオフィスを開いた。
川 尻	桑野道路・福井道路は調査設計及び用地買収、海部道路はアンケート調査終了、県道改良工事は地元調整に努めている。 (鶴木建設課長)	桑野道路は地元説明会、福井道路は地下水影響調査、海部道路は概略ルートや構造等を検討中。由岐田井地区の県道改良は道路詳細設計を作成中。
寺 下	過疎化対策として空き家情報の充実、受け入れの強化、町独自の施策に取り組みたい。 (礪野総務企画課長)	ホームページ新設、町宣伝ビデオ3篇制作。地域おこし協力隊4人受け入れ。移住を検討中の方向けに、滞在時車の貸し出し準備。
向 山	ふるさと納税は昨年9件で113万円。寄付者への特典等を充実させたい。 (礪野総務企画課長)	町の特産品を精選して送りたい。町ホームページやふるさと納税サイトの活用を行いたい。
北 山	「美波町人材育成基本方針」は、改善できるところは早急に取り組みたい。 (山路副町長)	現在は「人材育成基本方針」を見直した。
戎 野	町政及び議会のテレビ中継化は、コスト等を精査し検討したい。 (影治町長)	特別委員会に職員を参加させている。
中 川	町病院への交通手段は、地域公共交通会議で検討する。 (礪野総務企画課長)	7月の地域公共交通会議で検討する。

「あの答弁、ほのあと」



議会だより第 34 号（平成 26 年 9 月定例会）

質問議員	答 弁	現 状
中 川	農業支援策は、農機購入に補助する。 (小坂産業振興課長)	平成 27 年度当初予算額を 2 倍にした。
寺 下	災害時、安否確認困難地域は、民生委員等に協力を依頼し情報確認を行う。 (島田高齢者福祉監)	台風 18・19 号では安否確認を実施。地域包括支援センターに無料電話を新設。高齢者の見回り等も定期的実施。
北 山	産業施策検討懇話会の会議記録は、整理できるよう進めたい。 (影治町長)	第 6 回産業施策検討懇話会の会議録は整理できている。
向 山	地震対策は、各学校で工夫し、出来ていない所は来年度に進めたい。 (武田学校教育課長)	安全対策・管理は配慮し、窓ガラスの破損・飛散防止は協議を進めている。
江 本	大浜海岸防潮堤改修の設計は完了している。 (鶴木建設課長)	今年の 2 月に第一工区の改良工事に着工。
丸 龍	携帯電話の不感地域解消を検討していく。 (礒野総務企画課長)	平成 27 年度に不感地域（赤松）解消予算を計上。
永 本	捕獲野生動物解体処理場建設は、先進事例を参考に努力する。 (小坂産業振興課長)	民間で取り組む場合は支援する。
舩 田	観光政策は、関係者と共に検討していく。 (小坂産業振興課長)	県主導で「マケマケマルシェ」を月 1 回開催し、活況を呈している。
戎 野	公契約条例制定は、今後調査・研究を継続させたい。 (鶴木建設課長)	研究の段階で進んでいない。



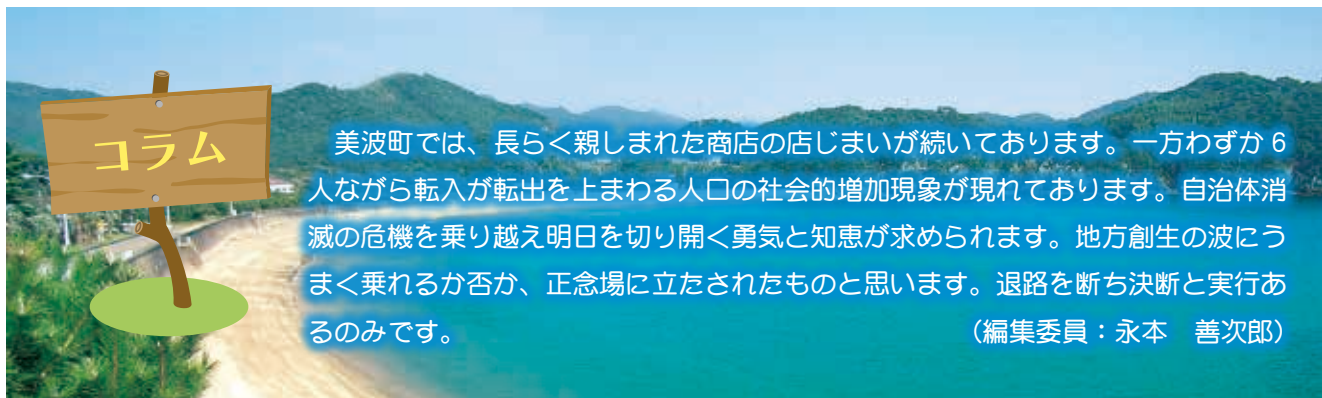
頑張る人!!

地域の魅力を掘り起こせ



作品展を主宰して9年
勝瑞 高春さん

「木岐夢ぎゃらりー」は、平成 19 年 7 月 7 日にオープンして、現在 52 回目の展示を開催しております。また、お遍路さんの話題を集めている「俳句の小径」は、町内有志のご協力により、50 の句碑を設置することが出来ました。(委員取材)



コラム

美波町では、長らく親しまれた商店の店じまいが続いております。一方わずか 6 人ながら転入が転出を上まわる人口の社会的増加現象が現れております。自治体消滅の危機を乗り越え明日を切り開く勇気と知恵が求められます。地方創生の波にうまく乗れるか否か、正念場に立たされたものと思えます。退路を断ち決断と実行あるのみです。

(編集委員：永本 善次郎)

● 議会広報特別委員会 ● (お問い合わせ・ご意見は TEL：77-3630へ)
 委員長：北山 朝彦 副委員長：永本善次郎 委員：戎野 博・中川 尚毅